

記者発表資料

荒川調節池BIM/CIM利活用事例を紹介します！

～ 荒池DXチャレンジ企画 ～

当事務所では、i-Construction の普及・促進活動の一環として、多くの方々に3次元データを積極的に利活用していただくことを目的に、荒川第二・三調節池事業のBIM/CIMデータを公開し、2月15日には、公開データの利活用事例と今後の利活用アイデアの募集を開始しました。

この度、これまでに御提供いただきました中から、第1弾として利活用事例を、2事例ご紹介いたします。

今後は、利活用事例集としてとりまとめ、当事務所ホームページに掲載していく予定です。

https://www.ktr.mlit.go.jp/araike/torikumi/i_construction/bimcim_bosyuu.htm

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、埼玉県政記者クラブ、
さいたま市政記者クラブ、さいたま市地方記者クラブ

問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局 荒川調節池工事事務所

建設DX推進室長 : こばやし ひろゆき 小林 裕之

調査設計課長 : ささうち かつゆう 笹内 覚雄

電話 048-767-6041、FAX 048-767-6046

3次元データを取り扱う スキルアップのための教育ツール

金杉建設株式会社

利活用の内容

- 社内では、作業員が2次元図面を3次元で現場の状況が把握できるように、3Dプリンターを導入している。
- 今回、公開データを3Dプリンターで出力することで、社員の河川構造物の設計技術や3次元データを使いこなすスキル向上のために活用できた。
- 合わせて、3Dプリンターの操作技術の向上にも繋がっている。



3Dプリンターを使った勉強会の様子



3Dプリンターで出力した荒川第二調節池排水門

お知らせ

3Dプリンターモデルの作成について、金杉建設様から話を伺うことができました。

今回のモデルは役目を終えて社内展示の予定がないため、広く皆様にもご覧頂けるように、荒川第二調節池付近に設置の広報ブースで展示予定です。



広報ブース開所時には、是非お越し下さい！！



※広報ブース開所時は別途お知らせいたします。

八千代エンジニアリング株式会社

利活用の内容

- ▶ 公開データを3Dプリンターで出力し、それを投影面としたプロジェクションマッピングにより、調節池の整備イメージや役割（洪水調節の仕組み）等を分かりやすく臨場感を持って表現することが可能となった。
- ▶ このツールを活用し、事業の理解度向上及び若手技術者の発想力や想像力を養い、技術提案力の向上につなげている。

